

水産業強化支援事業事後評価報告書

		山口県農林水産部 漁港漁場整備課	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		経営構造改善目標	30-1
事業実施主体		下関漁港近代化協同組合	
実施地区名		下関地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		令和1年度、令和2年度	令和5年度
交付金額		35,585,000円	
事業計画の内容		①電動フォークリフトの導入 ②魚体選別機の整備	
評価	成果目標		①維持管理コストの削減による収益性の向上 ②選別作業（労働）時間の削減
		現状値	①3,622千円／年 ②2,357時間
		目標値	①4,991千円／年 ②3,883時間
	（1）現状値の説明		① 維持管理コストの削減による収益性の向上 従来のエンジン式フォークリフトから電動式フォークリフトに変更することで、維持管理費の軽減が図られた。 ・導入前（H29）：11,494千円 ・導入後（R5）：3,622千円（目標値：4,991千円、達成率137%） ② 選別作業（労働）時間の削減 魚体選別機の導入により、選別時間の短縮が図られた。 ・導入前（H29）：4,016 時間 ・導入後（R5）：2,357 時間（目標値：3,883時間、達成率164%）
	（2）地域への経済効果		・労働力を削減することで市場の運営効率を向上させ、生産性を高めるだけでなく、余った時間を他の業務に使うことでサービスの品質向上に取り組むことが可能。 ・さらに、労働力削減は働き方改革の一環でもあることから、人手不足が深刻な水産業界では雇用機会拡大へつながられる。 ・経費削減によって余裕資金を得ることができれば、新たなビジネスチャンスへの投資や事業拡大が可能となり、需要増加や輸出拡大を図ることができる。 ・エンジンフォークリフトの導入により大気汚染や騒音の削減に寄与し、これにより地域全体の環境品質向上に貢献する。 ・出荷物の汚染防止、鮮度保持が図られることにより、消費者に新鮮で安心安全な魚を提供することが可能。
	（3）所見		電動フォークリフトの導入により、維持管理費が68.4%削減されるとともに、魚体選別機の導入では、労働時間が41.3%削減されるなど、収益性の向上と労働環境の改善が図られている。
	（4）評価機関への意見等		—
今後の改善方向等に関する分析		令和5年度以降も、コスト削減並びに労働時間の短縮を図ることで、さらなる収益性の向上と労働環境の改善を図る。	